



車戸明良議員

心や成長に悩みを抱える子どものサポートを

子どもの健全な発達の支援や、専門医療機関と連携した圏域での仕組みづくり

閩知的発達の遅れは無いが、生活面や行動面等で気になり療育に通っている就学前の子どもの状況は。

答子どもの発達支援が必要とされる状況は増える傾向にある。療育の利用登録者は年少で60人、年長で92人、児童は291人である。閩飛驒市が開設した児童精神科診療所「こどもこのころクリニック」の受診、予約状況は。答予約待ちを含め高山市51人、飛驒市36人など計95人である。閩成長が気になる、また困り感がある子どもや、発達障害を抱える



中田清介議員

高山市のオープンデータ・ビッグデータの活用について

子どもに対して、専門機関で早期受診ができ、その後子どもが身近な地域で質の高い支援を受けられるよう、「こどもこのころクリニック」など飛驒圏内の関係機関との連携の仕組みづくりが必要ではないか。

答まずは飛驒市と協議し、3市1村でも仕組みについて協議を進める。

中部山岳国立公園と周辺エリアの活性化

閩このエリアの山岳・温泉資源を活用した振興策を積極的に展開すべきではないか。

答入込客の増加に向けて「奥飛驒温泉郷国民保養地」の指定を活用するなど、地域と連携した取り組みを進める。

閩行政が取得したデータを様々な施策に活かすオープンデータ都市が出現している。市独自のオープンデータ活用を道に拓くことはできないか。

答国では平成32年度までに地方公共団体のオープンデータの取り組みを100%にするこゝととし、都道府県には計画の策定が義務付けられた。市としても動向を注視している。

閩地方自治体のオープンデータの活用は、一つには新産業創出に道を拓くことと言われている。新しいビジネスを誘発するデータの公表として捉えることはできないか。

答オープンデータ活用が進んで、市民が利用できるサービスの量と



山腰恵一議員

林業・林産業を成長産業へと押し上げを

林業・林産業の振興

閩平成36年度からの森林環境税の導入に先立ち地方に譲与される森林環境譲与税の有効活用の考えは。

答境界の明確化や路網整備、人材育成など、国のガイドラインを見て活用を検討する。閩今後の市産材の需要動向と需要拡大に向けた取り組みは。

答人口減少に伴い新設住宅着工数の減少により建築用材は横ばいから下降傾向にある。公共施設の木質化や匠の家づくり支援事業を推進していく。

閩持続可能な地域循環型社会の構築を目指すため、木質バイオマスを活用した「飛驒高山モデル」の更なる取り

組みの考えは。

答公共施設への熱供給を検討するなど各地の成功事例を研究し、将来的には地域熱供給システムへとつなげる。

中小規模事業者の支援について

閩少子高齢化で中小規模事業者の事業承継が進まないと言われている市現状と課題は。

答中小企業の事業者は減少傾向にある。商工会議所の実態調査では半数近くの経営者が承継したいと考えているが、後継者の確保などの課題がある。

閩相談体制や事業者に寄り添った支援が必要と考えるが。

答各関係団体などと連携し円滑な支援をしていく。